WebSphere, Process Server Hypervisor Edition



バージョン 6.2

クイック・スタート・ガイド

このガイドを使用して、IBM[®] WebSphere[®] Process Server Hypervisor Edition を WebSphere[®] CloudBurst アプライアンスにロードし、用意されているパターンのいずれかを 仮想システムにデプロイする作業を開始できます。WebSphere CloudBurst アプライアンス なしでスタンドアロンで操作するために WebSphere Process Server Hypervisor Edition イメージをロードすることもできます (Linux でのみ使用可能)。



各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、クイック・スタート・ガ イド・パッケージにアクセスしてください。

製品の概要

IBM[®] WebSphere[®] Process Server Hypervisor Edition には、内蔵タイプの仮想マシン・イメージが含まれ、このイメージに は、ゲスト・オペレーティング・システムおよび WebSphere Process Server Version 6.2 が組み込まれています。WebSphere CloudBurst アプライアンスと組み合わせて使用すると、WebSphere Process Server Hypervisor Edition は、仮想化された WebSphere Process Server 構成の構築、デプロイ、および保守の機能を提供します。

ステップ 1: ソフトウェアおよび文書の入手

製品をパスポート・アドバンテージからダウンロードするには、以下のダウンロード文書の指示に従ってください。 http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg24026233

この製品オファリングの内容は以下のとおりです。

- クイック・スタート・ガイド・パッケージ
- •WebSphere Process Server Hypervisor Edition パッケージ

WebSphere CloudBurst アプライアンスに WebSphere Process Server Hypervisor Edition イメージをロードするため、 またスタンドアロン操作向けにイメージをロードするため (Linux のみ) の詳細なドキュメンテーションは、 WebSphere Process Server Hypervisor Edition インフォメーション・センター (http://www.ibm.com/software/integration/ wps/library) にあります。

ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価

システム要件の詳細については、http://www.ibm.com/software/integration/wpshv/requirements/を参照してください。

ステップ 3: 製品のロード

ここでは、イメージ・ローダーのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して WebSphere CloudBurst アプ ライアンスに製品をロードする方法の概要を説明します。

- A. ダウンロード・パッケージを抽出します。
- B. パッケージを抽出したルート・ディレクトリーの loader.bat または loader.sh を実行します。
- C. 仮想イメージおよびパターンのロード先アプライアンスの「ホスト名」を入力します。
- **D.** そのアプライアンスにアクセスするために必要な「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
- E. オプション: イメージ・ローダーを実行するマシンのデフォルトの「言語」を設定します。

F. オプション: 「**テスト接続**」をクリックして、イメージ・ローダーが正常にアプライアンスにアクセスできること を確認します。検出されるすべての接続の問題を解決します。

ステップ 4: パターンのデプロイ

ここでは、仮想システムに事前定義パターンをデプロイする方法の概要を説明します。

A. WebSphere CloudBurst アプライアンスの管理コンソールにログインし、「カタログ」 > 「仮想イメージ (Virtual Images)」にナビゲートして、ステップ 3 でロードしたイメージについてのライセンスを受け入れます。

B. WebSphere CloudBurst アプライアンスの管理コンソールのメニュー・バーから、「パターン」を選択します。

C. 事前定義パターンのいずれか、例えば「WebSphere Process Server V7.0.0.2 のシミュレートされたスケーラブ ル環境 (Simulated Scalable Environment for WebSphere Process Server V6.2.0.2」を選択します。

D. ビューアー領域の「デプロイ (Deploy)」をクリックします。

E. 新しい仮想システム用の名前を入力し、「仮想パーツの構成 (Configure virtual parts)」リンクをクリックします。

F. 各パーツを選択し、CPU フィールドとメモリー・フィールドのデフォルト値を受け入れ、それぞれのフィールドについてパスワードを入力して、「**OK**」をクリックします。

選択したパターンに基づいてデプロイされた仮想システムを以下の図に示します。



ステップ 5: アプリケーションのデプロイ

ここでは、アプリケーションのデプロイ方法を説明します。

- A. メニュー・バーの「仮想システム (Virtual Systems)」を選択します。
- B. ステップ 4 で指定した名前を見つけて、新規作成した仮想システムを選択します。
- C. 「仮想マシン (Virtual machines)」セクションを展開します。
- **D.** 仮想マシンを展開し、「コンソール (Console)」 > 「WebSphere」にナビゲートします。

E. ユーザー ID「virtuser」とステップ 4 で指定したパスワードを使用して、WebSphere 管理コンソールにログオンします。

F. WebSphere 管理コンソールを使用して、アプリケーションをデプロイします。

その他の情報

- 、その他のテクニカル・リソースについては、以下のリンクを参照してください。
- •WebSphere Process Server ドキュメンテーション (http://www.ibm.com/software/integration/wps/library/infocenter/)

IBM WebSphere Process Server Hypervisor Edition Version 6.2 Licensed Materials - Property of IBM. © Copyright IBM Corp. 2010. All Rights Reserved.

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があり ます。現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。 Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標で す。Intel および Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標で す。UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。